



※清永啓太さん（地域おこし協力隊）のイラストを掲載します。季節で変わる予定ですので、お楽しみに！

瑞宝双光章

祝 おめでとうございます

地方自治などにおける長年の顕著な功績を認められ、次の方々が高齢者叙勲を受賞されました。



甲斐 恵子さん

旭日双光章



井上 二刀さん（代理 井上 光二さん）

旭日双光章



沖田 義一さん

伊佐農林高から全国共進会へ

7/12



伊佐農林高校2年の尾口誠真さんと前田陽市校長が市長室を訪れ、令和4年度鹿児島県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会（肉牛の部）高校生部門において最優秀賞及び県教育委員会賞を受賞したことを報告しました。尾口さんは県代表として、10月に開催される全国和牛能力共進会（全共）に出場します。尾口さんは「全共に向けて、さらに和牛に関する知識を習得したい」と話しました。

フォトドラアワードに 認定されました！

6/23



湯之尾滝ガラッパ公園と布計小学校跡が、フォトドラアワードに認定されました。フォトドラとは、「フォト(写真)ドライブ(運転)」の略で、写真を撮るために車で出かけてみたくなる、とっておきの鹿児島県の「映える」スポットを集め、その魅力を県内外に発信していくプロジェクトです。伊佐市では、すでに曾木の滝が認定されています。

番組は、KKBにて毎週水曜 20時54分から放送中です。過去の放送回は、公式ホームページで視聴することができます。

大きく育てレブライス！

7/9



「田んぼでレブナイズ」が開催され、プロバスケットボールチームの鹿児島レブナイズの選手やスタッフが、菱刈前目で田植えを行いました。

永山雄太選手は「初めて田植えをしてみるととても楽しかったです。バスケットボールやチームロゴの形に植えた稲がどのように成長するか楽しみです」と話しました。

今回植えた“レブライス”は収穫後、ファンクラブ会員にプレゼントしたり、試合会場で販売したりするそうです。

環境について学ぶ

7/5



南永小学校で環境学習講座が行われ、児童が川の水質保全などについて学びました。鹿児島県環境保全協会の職員が講師を務め、浄化槽の模型やパックテストを用いるなどして、児童に水がきれいになる仕組みを解説しました。

山下大我さんは「微生物が川をきれいにしてっていると知ってすごいと思った。川が汚れないように、自分も気を付けていきたい」と話しました。

インターハイでの活躍を誓う

7/21



伊佐農林高校3年の安部隼人さんが市長を訪問し、8月3日から香川県で開催されるインターハイ（カヌースプリントカヤックシングル 200m・500m）での活躍を誓いました。

安部さんは「16年間の競技人生の集大成として、高校最後のインターハイで全力を出し切れるよう頑張ります」と力強く意気込みを語りました。



大口高校生が 地域サミット特別賞



6/23

大口高校生5人が市長を訪問し、「全国高校生マイプロジェクトアワード2021」地域サミット特別賞の受賞を報告しました。

5人は総合探究の授業で、古着等販売イベント「DIVE」を企画・開催。地域の課題に向き合い、工夫を凝らして地域活性化に繋がる活動を続けた点が高く評価されました。

福岡実咲さんは「イベントを成功できるか不安もあったけど、多くの人に来てくれてよかったです。特別賞を受賞できてとてもうれしいです」と話しました。

伊佐米を加工して販路拡大



猩々農園株式会社が、農林水産大臣から六次産業化認定を受けました。猩々農園は、自社の伊佐米を甘酒や甘酒フリーズドライに加工して販売しています。伊佐市商工会が総合化事業計画の作成を支援し、県内で初めて米食品の六次化に認定されたとのこと。

猩々義秋さんは「伊佐米を原料とした、無添加のカラダに優しい甘酒です。これからも新商品開発にチャレンジして、地域に貢献していきたいです」と話しました。

伊佐から世界に

7/8



伊佐市出身で知的障がい者サッカー日本代表の原良田龍彦選手が市長を訪問し、フランス代表チームとの国際親善試合に出場したことを報告しました。

原良田選手は「短い時間でのプレーでしたが、ゴールを決められず悔しかった。4年後の国際大会では、先発出場して得点できるよう頑張ります」と話しました。

ありがとうございます



7/4

阿久根石油が、市内小学校5・6年生に童話集「童話の花束」500冊を寄贈しました。



伊佐市在住の新保富子さんが市内小・中学校に絵本「へいわとせんそう」を1冊ずつ寄贈しました。

※同じ絵本が、市立図書館にもあります。